

産業能率大学 経営学部

| | | | |
|--|----------------------------------|-------|-----------------------------------|
| キャリアを考える | 履修年次 | 1 | |
| | 単位 | 2 | |
| 荒井 明、杉田 一真、穂積 良浩、前村 真一 | 配当期 | 後 | |
| | 授業方法 | 講義/対面 | |
| 授業の内容 | | | |
| <p>[授業の概要]</p> <p>本学での学業をやり多しものとするためには、将来に向けたキャリア形成を考えることが重要である。キャリア(career)という言葉には、1.生涯、経歴、履歴、2.出世、成功、3.職業、生涯の仕事などの多義的な意味がある。したがってキャリアを考えるということは、「自分にとって人生とは何か」「どのように生きるべきか」「いかなる職業を選択すべきか」といった将来を見据えたテーマが含まれる。</p> <p>本学の教育目標は、ビジネスのさまざまな領域で活躍できる有能な人材を育成することであり、本学を卒業した時点で、十分に実務を行える能力を身につけていることが期待される。そのためには、まず、人生に対する主体的な姿勢を確立し、仕事や職業に就くことの意義を早期に認識することが大切である。そして、将来の目標と、その実現にはどのような能力が必要かを認識することによって、本学での学業の方向性や到達目標を明確にすることができる。と考える。</p> | | | |
| この科目の到達目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自己のキャリアを考える上での基礎的な知識を有している。 ・獲得した知識をもとに自己のキャリア形成に対する認識を深め、それについて記述することができる。 ・多様なメディアを通して適切な情報収集ができ、また話を聞き、関心領域を広げることができる。 ・自己のキャリア設計について深く考え、それを文章にまとめ、自分の言葉で表現できる。 | | | |
| 成績評価の方法 | | | |
| <p>毎回の授業の理解度の達成度と課題レポート2回、授業外学習の確認テストにより総合評価する。キャリアを考える上で必要となる知識を獲得し、自身のキャリア形成に対する認識を深めるには、毎回の授業に参加し思考する習慣を身につけなければならない。本科目の評価は授業出席の割合が高い。</p> | | | |
| 週 | 授業項目 | 週 | 授業項目 |
| 1 | 基礎力測定テスト(PROG テストの解説) | 8 | 経済の動向や企業の情報収集の仕方(社会理解の方法) |
| 2 | “キャリア”とは何か(キャリアの定義とキャリア教育の歴史) | 9 | 自分の適性を知る(自己理解のためのアセスメントの実施) |
| 3 | 働くことの意味(労働の二面性とライフキャリアレインボー) | 10 | 雇用環境の変化と多様化した雇用形態(労働法の基礎知識) |
| 4 | 社会のしくみと働き方(経済循環の仕組みと日本の借金) | 11 | 組織での働き方と職種(組織形態とライン&スタッフ)と資格 |
| 5 | ライフキャリアデザイン“夢、希望、目標”(希望のつくりかた) | 12 | 自分の適性を知る(アセスメントのフィードバック) |
| 6 | 社会が求める能力(経済産業省の社会人基礎力とフィンランドの教育) | 13 | キャリアダイアログ(先輩と語る) |
| 7 | 産業構造と成果主義(三大雇用慣行と企業社会の変化) | 14 | キャリアプランシートの作成(リフレクションとキャリアプランニング) |